



せいひ会だより

2015年(平成27年)
11月1日発行
<第187号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



秋晴れの日曜日、近くにある四本堂公園までドライブへ出かけたグループホーム入居者の皆さん。公園に咲いているコスモスや海を臨む景色などを堪能してきました。街路樹の紅葉も日に日にすすみ、秋の深まりを感じるようになりました。冬の訪れももう間近ですね。

10月の行事

- 17日 運動会(風和)
- 18・25日 バスハイク(GH)
- 27日 消火訓練(寿限無)
- 30日 夜間想定消防訓練(風和)



せいひ中央クリニックのご案内

診療科目: 内科、老年内科、循環器内科
診療時間: 8:30~18:00
(12:30~14:00はお昼休み)
休診: 木曜・土曜午後、日・祝日

11月の行事予定

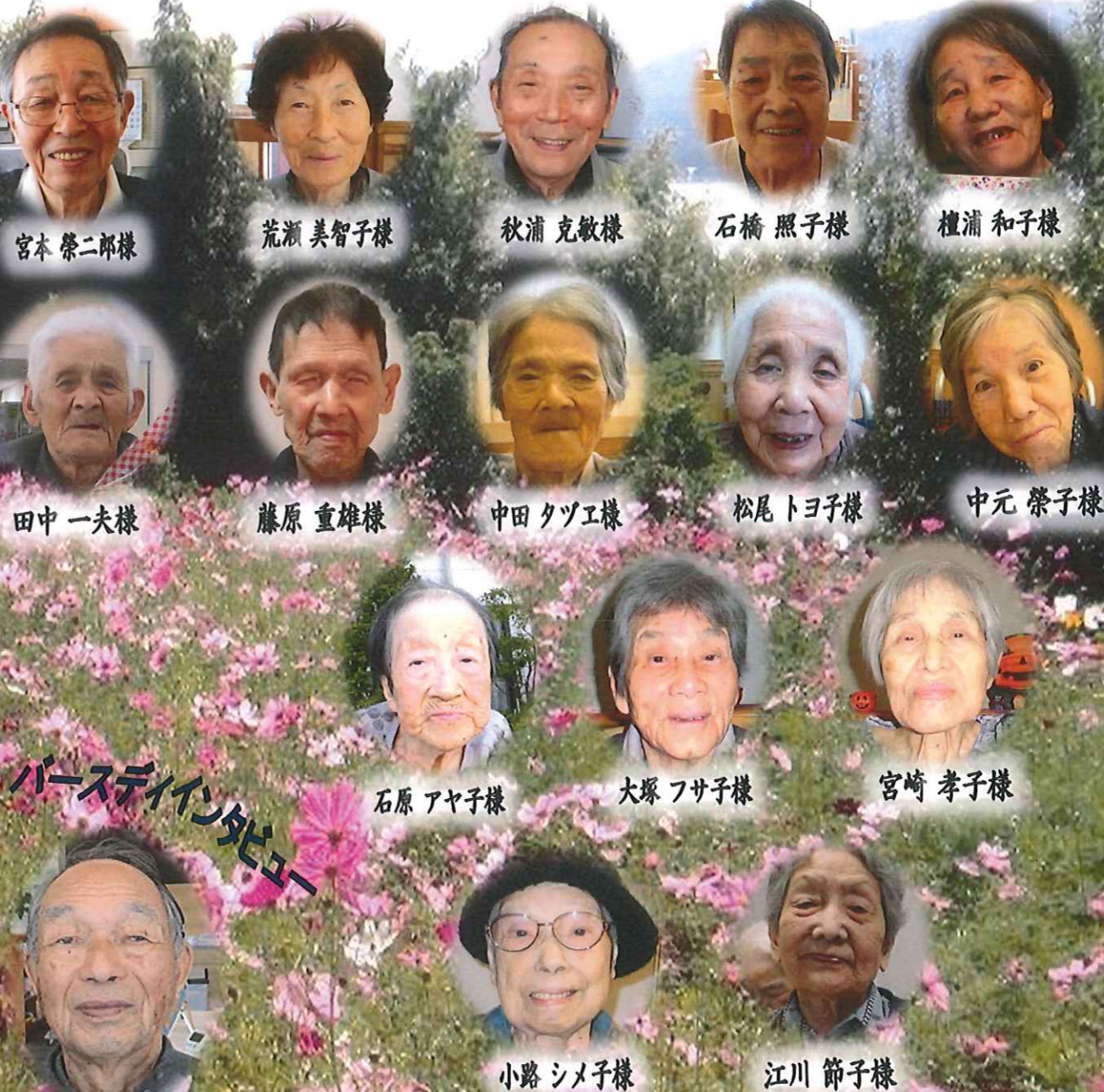
- 06日 運営推進会議(GH)
- 19日 運営推進会議(寿限無)
- 22日 いもほり(GH)
- 24日 通報訓練(寿限無)



せいひ会のホームページが、より見やすく、わかりやすくリニューアル！スマートフォンでもご覧いただけます。

せいひ会 検索

☆10月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



宮本 繁二郎様

荒瀬 美智子様

秋浦 克敏様

石橋 照子様

檀浦 和子様

田中 一夫様

藤原 重雄様

中田 タツエ様

松尾 トヨ子様

中元 榮子様

石原 アヤ子様

大塚 フサ子様

宮崎 孝子様

小路 シメ子様

江川 節子様

山脇 良人様

今回は通所リハビリテーション: 山脇 良人様にお話を伺いました。

亀岳に生まれる。両親は喰場川の近くで精米所を営んでいた。小学校4年生の頃、中国満州へ開拓団として移住することとなる。満州での生活は苦勞の連続だったようだ。大東亜戦争が始まると、飛行兵として入隊し、東京の第7通信連隊で無線通信を行っていた。「無線通信の時に相手の無線妨害(爆発音)で耳が悪くなった」とのこと。終戦となり、兄を頼って小干に帰ってきた。しばらくして白崎の山脇家へ婿養子として入り、4人の子供に恵ま

れる。「大百姓で麦・大豆・米・みかんを作りよったとけど、自分は百姓の経験がなかったので大変でした」とのこと。その後、西彼町の町議や書道の先生も行ってた。現在、通所リハビリテーションを利用されている。「ここに来れば知り合いもおるし、話のできて嬉しか」とのこと。時には冗談も交えながら楽しそうに話され、新聞を読んだり、書き物をしたり、マシントレーニングにも励まれている。これからも、戦時中の話など昔の話を聞かせてください。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

出し物や踊り終わって引っこむと「もってこーい」との声でにぎわう
(風和) 立石ミドリ

光庭
もみじが真っ赤に染まったよ
(風和) 中島マツ

法和
大川千代子

風和 大川千代子

紅葉
嶋田トエ

風和 嶋田トエ

「麻島神社」



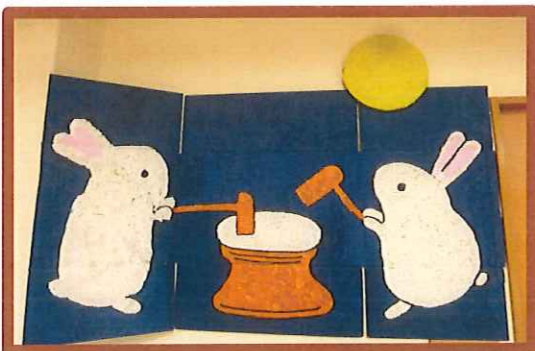
じゅげむ 山本一枝

「いろいろばた」



じゅげむ 大坪公子

「うさぎの餅つき」



寿限無 利用者作品

ちぎり絵で作られた作品です。サイズは約100センチ×120センチの、見ごたえある大きなものとなりました。この作品は、11/14・15に行われる「琴海ふるさとまつり」にも出展予定です。

消火訓練

10/27、寿限無で消火訓練を行いました。施設内の散水栓や消火器の場所や使用方法等を、実際に手に取りながら確認していきま。非常時に戸惑うことがないよう、日頃からしっかり備えていきたいと思。います。



風和の里の運動会



10/17、風和の里ふくろうホールで運動会を行いました。利用者の方による選手宣誓で幕を開けた運動会。パン食い競争やボール回し競争、玉入れに加えて、今年は応援合戦も競技の一つとして取り入れました。大きく振られる応援団旗と手拍子に合わせて、紅組・白組共に大きな声で応援を行いました。白熱の戦いを制したのは白組！「子供の頃に戻ったみたいで楽しかったよ！」と、笑顔で万歳三唱されていました。



リハビリがんばってます！



元亀の里が、中山郷から鳥加郷・シニアヴィレッジへ移転して、はや1ヶ月が経ちました。日当たりも良く、広々としたリハビリ室と新しいマシンで、利用者の方々は意欲的にリハビリに取り組んでおられます！

オヤジ 敏美の独り言

〈やってはいけないこと〉



ショッキングなニュースが飛び込んできた。我が読売巨人軍の選手による『賭博』。プロ野球選手であれば当然「やってはいけないこと」として長年、引き継がれてきたことであり、プロ野球規則にもうたっていることである。なぜこのようなことが起きたのか、現在も究明中であるが、プロとしての「誇り」が薄れてきているのではないだろうか？プロ野球選手は日本の男児とし

て生を受けたほとんどの人が憧れる職業である。その中でほんの一握りの人間しか叶えることのできない職業である。プロ野球選手になった時から「誇り」をもってやって行って欲しい。一般社会にもやってはいけないことはたくさんある。それをみんな守っているからこの平和な日本があると思う。もう一度「襟を正して前を向こう」と思った今月でした。